

# Press Release



2021年8月18日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは8月6日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は [www.covestro.com](http://www.covestro.com) をご参照ください。

需要引き続き順調に回復、価格も上昇

## コベストロ、好調な第2四半期 収益拡大に弾み

- 主要製品販売量は35%増
- グループの売上高は83.5%増の39億ユーロ超え
- EBITDA（利息・税金・償却控除前利益）前年同期比5倍を超える伸びで8億1,700万ユーロ
- 純利益は4億4,900万ユーロ
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローは、3億7,400万ユーロと大幅増
- 2021年7月12日時点で示した業績見通しの上方修正を確認
- 持続的成長のための基盤：グループの新しい組織体制が7月1日スタート

2021年第2四半期のコベストロの業績は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響で低調だった2020年第2四半期と比べて、世界的な需要の力強い回復に押し上げられました。今回の決算から、2021年4月1日付けでDSM社より買収したレジンス&ファンクショナルマテリアルズ(RFM)事業を連結決算対象に組み入れました。その結果、当社グループの主要製品販売量は前年同期比で35%増と大幅に伸びました。そのうち、約10ポイントはRFMの事業統合によるものです。

一方で北米地域における異常気象に起因する予想外の生産停止や、原材料不足が続いた結果、製品の供給能力に影響が及び、全セグメントの潜在的成長力が制約を受けました。しかしながら、販売量の増加に加えて、販売価格の大幅な上昇により、売上高は 39 億ユーロを超え、前年同期比 83.5%の大幅増となりました。EBITDA（利息・税金・償却控除前利益）は前年同期の 1 億 2,500 万ユーロから 8 億 1,700 万ユーロに拡大しました。この結果には、RFM 事業統合に関連した 3,500 万ユーロの一時的な損失も含まれます。純利益は 4 億 4,900 万ユーロとなりました（なお、前年同期は 5,200 万ユーロの損失を計上しています）。フリー・オペレーティング・キャッシュフロー（FOCF）は前年同期 2,400 万ユーロに対し、3 億 7,400 万ユーロと大幅な伸びを示しました。

コベストロ CEO のマーカス・スタイレマンは「第 2 四半期は第 1 四半期の好調な業績をスムーズに引き継ぐことができました。7 月 1 日の組織再編成で顧客との距離が縮まり、特定の市場ニーズに対応するための最適な体制が整いました。下半期も力強い勢いを保ちながらスタートし、コベストロのビジョンである『We will be fully circular』の実現に向け引き続き、全速力でまい進します」と述べています。

## **2021 年通期の業績見通し上方修正（速報値）を確認**

好調な業績を踏まえ、コベストロは 7 月 12 日時点で速報値を発表し、2021 年通年の業績見通しを上方修正しています。当社は本日、この上方修正見通しを確認しました。下半期の見通しの改善を背景に、EBITDA は 27 億ユーロ～31 億ユーロに達すると見込んでいます。また FOCF は 16 億ユーロ～20 億ユーロ、使用資本利益率（ROCE）は 16%～20%を見込んでいます。主要製品の販売量成長率は従来どおり 10%～15%と見込んでおり、そのうちの約 6 ポイントは RFM 事業に起因するものです。

コベストロ CFO のトーマス・トゥプファーは、「第 2 四半期は、引き続き高い需要と持続的な販売価格上昇の恩恵を受けつつ、コスト管理を徹底しました。さらに、RFM 事業が初めて完全に連結されました。当社の好調な業績は、今回の買収の戦略的合理性をさらに証明するものです。この好業績の勢いを第 3 四半期につなげていきたいと思っております」と述べています。

## **持続可能な成長のための基盤：7 月 1 日から新たなグループ組織体制に**

コベストロは、組織体制の再編成により、グループが 2021 年 2 月に公表した「Sustainable Future（持続可能な未来）」戦略の最初の指標を達成しました。新たな組織体制ではポリウレタン、ポリカーボネート、塗料・接着剤・スペシャリティーズの 3 つのセグメントを再編し、新たに

7つの事業部をスタートさせました。これらの事業部は、成功要因に基づき組織化され、個々の顧客とマーケットのニーズに適合しています。これにより収益性と持続性に照準を合わせながら、システムチックに、製品とプロセスを顧客のニーズに合致させることが可能となりました。今後、コベストロは「パフォーマンスマテリアルズ」と「ソリューション・スペシャリティ」という2つのセグメントの下で業績報告を行う予定です。この新しい組織体制による業績報告は2021年11月8日発表予定の2021年第3四半期業績発表から行われます。

### **全てのセグメントで好調な業績：数量および売上高の増加**

2021年第2四半期、ポリウレタン事業の主要製品販売量は前年同期に比べ27.8%増加しました。販売量の増加は全ての地域、全ての主要顧客産業で達成しています。売上高は約18億ユーロで、前年同期の9億1,300万ユーロに比べて2倍以上に増加しました。これは主に、平均販売価格の上昇と総販売数量の増加によるものです。利益率の向上により、EBITDAは4億5,200万ユーロを計上しました。前年同期は2,400万ユーロの損失となっています。

ポリカーボネート事業の主要製品販売量は15.4%増加しました。これは主に、全ての地域で自動車・輸送機産業向けの販売量が拡大したことによるものです。販売数量、販売価格の上昇により、売上高は前年同期より6億4,800万ユーロから約10億ユーロに増加しました(56.6%増)。収益性の大幅な改善と、販売量の増加により、EBITDAは前年同期の9,600万ユーロから2億6,000万ユーロに拡大しました。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業の主要製品販売量は前年同期比で133.5%の大幅増を記録しました。このうち約100ポイントはRFM事業の連結によるものです。こうした事業ポートフォリオの変更に加えて、販売数量の増加、販売価格の上昇により、売上高は前年同期比4億4,300万ユーロから9億2,600万ユーロに増加しました。この結果、EBITDAは前年同期比2倍以上の1億3,400万ユーロと伸びました。

### **2021年上半期、需要が大幅に回復**

全ての主要顧客産業の需要が大幅に回復したことにより、2021年上半期(2021年1月~6月)の販売量は前年上半期に比べて18.9%増加しました。さらに販売価格の上昇、事業ポートフォリオ変更により、今上半期の売上高は前年同期に比較して47.1%増の約73億ユーロとなりました。特に、販売価格の大幅上昇は、原材料価格の上昇を補い、コベストログループ全体のEBITDAを前年上半期の3億7,900万ユーロから約16億ユーロに押し上げました。純利益は8億4,200

万ユーロ（前年上半期 3,200 万ユーロの損失）、FOCF は 6 億 9,200 万ユーロ（前年上半期 2 億 2,500 万ユーロの損失）から大幅に改善しています。

---

**コベストロ社について**

コベストロ社は 2020 年売上高が 107 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工や家具、電気・電子、スポーツ・レジャー、コスメティック、ヘルスケア、そして化学の各産業です。コベストロ社は、世界中の 33 拠点に生産施設があり、社員数は 2020 年末で約 16,500 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 [www.covestro.jp](http://www.covestro.jp), Twitter: <https://twitter.com/covestro>

---

**【この件に関するお問い合わせ先】**

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 KDX 浜松町プレイス 7F

広報部 大槻 Tel:03-6403-9100 / Fax:03-3436-1540

---

## コベストログループの主要データ

	2020 Q2	2021 Q2	前年比
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
主要製品販売量	-22.7%	+35.0%	
売上高	2,156	3,956	+83.5
売上高差異			
販売量要因	-22.3%	+29.0%	
価格要因	-9.0%	+45.9%	
為替要因	-0.1%	-5.4%	
製品構成要因	-1.5%	+14.0%	
EBITDA ※1	125	817	>500
EBIT ※2	(68)	607	
当期純利益	(52)	449	>1800
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	24	374	

※2021年6月31日付（前年同月同日比）

※1 金利・税金・償却前利益

※2 金利・税引前利益

#### 将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト（[www.covestro.com](http://www.covestro.com)）に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。